

水環境・土木工学科

2020年度入学生(20T)

卒業要件表

～卒業・進級に必要な授業科目及び単位数～

★専門科目の必修科目名等は、次頁「専門科目一覧表」を参照。

区分		1年次 に修得をする単位		2年次 に修得をする単位		3年次 に修得をする単位		4年次 に修得をする単位		卒業要件 単位数
		内 容	単位数	内 容	単位数	内 容	単位数	内 容	単位数	
共通教育科目	学術リテラシー	必修(※1)		1						1
	統計	選択	左記の3科目から1科目(2単位)修得	2						2
	科学史									1
	現代社会論									4
	健康	必修		1						
	英語	必修	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A)	1						
			アカデミック・イングリッシュ・フェイズ II (A)	1						
			クリティカル・リーディング I	1						
			クリティカル・リーディング II	1						
	初修外国語	(※2)								
専門基礎系	人文・社会	選択	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得 ①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得 ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】(※1)	12						12
	自然・技術									4
	環境・健康									
	英語	必修			アカデミック・イングリッシュ・フェイズ III	2				
					アカデミック・イングリッシュ・フェイズ IV	2				
	初修外国語	(※2)								
	基礎科学	必修	数学(微分積分学 I)	2	数学(線形代数学 II)	2				10
			数学(微分積分学 II)	2						
			数学(線形代数学 I)	2						
			物理学(力学)	2						
		選択	化学(一般化学 I)	2	物理学(波動と光)	2				2
			生物学(生物学A)	2						
			生物学(生物学B)	2						
			地学(地学概論 I)	2						
			地学(地学概論 II)	2						
	日本語・日本事情教育科目	(※3)	<外国人留学生対象科目>							
	計			30		6		0		36
専門科目	エンジニアリング科目 学部共通科目 学科共通科目 プログラム科目	必修	学科共通科目 4単位	4	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 26単位		31	学科共通科目 10単位	10	45
		選択必修		0	プログラム科目 9単位 (配属プログラム)	9		0		9
		選択		0	2～3年次対象 <4年次への進級要件は下記のとおり>	35	<4年次対象 科目あり>	<0>		35 (※4)
	計			4			75		10	89
合 計		1年次 に修得をする単位数	34	2～3年次 に修得をする単位数	81	4年次 に修得をする 単位数	10			125

履修登録上限単位数	1年次: 前期24単位、後期24単位	2年次～4年次: 通年48単位
2年次への進級要件	2年次への進級閑門は設けていないが、1年次の修得単位が極端に少ない場合は、松本キャンパスに引き続き在留して1年次の授業科目を履修することを勧告する。	
3年次への進級要件	3年次への進級閑門は設けていない。	
4年次への進級要件	上表のうち、以下の条件を全て満たしていること。 ①共通教育科目34単位以上(うち1年次対象の必修科目全て)を修得 ②専門科目64単位(うち配属されたプログラムの必修科目から38単位以上)以上を修得 ただし、選択科目に他学科・他学部の科目は算入しない。(卒業要件には算入可) また卒業要件外の科目は、進級要件の単位数に含まれない。	

※1 学術リテラシー(1単位)、教養系の演習形式の科目(2単位)を、1年次に修得できなかった場合には、その他の基盤系、教養系の授業科目を当該単位数以上修得することにより、振り替えることができる。

※2 初修外国語(中国語・ドイツ語・フランス語・ハングル・スペイン語)を修得した場合、2単位まで教養系(人文・社会)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。

※3 外国人留学生が、日本語・日本事情教育科目を修得した場合、教養系又は英語(基盤系又は専門基礎系)の単位に算入することができる。なお、算入については学科の指導による。

※4 他学科の授業科目(応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用数学Ⅲ、確率・統計、解析力学、物理学実験を除く。)及び他学部の授業科目は、合わせて10単位を越えない範囲で選択科目に加えることができる。